

## (2) 記載方法【企画シート『コデル CoDeL』】

### 作成にあたっての留意点

- 地域分析シートに記載した複数の「地域の課題」、「理想の地域像」「将来像」のうち、どれに対する取組なのかを意識して作成しましょう。 ※地域分析シートに記載した複数の課題・理想の地域像それぞれに対して企画シートを作成してみましょう。
- 「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の視点を盛り込みましょう。
- 誰が見ても分かる、担当が変わっても分かるようにシートを「見える化」していきましょう。
- 特定の人だけではなく、プロジェクトチームをつくるなど事業・企画に関わる人たちでシートを作成することも考えましょう。

- ・取組のアイデアがまとまってきたら事業のネーミングを考えましょう。
- ・たくさんの方が関わってみたいと思えるようなユニークなネーミングにしましょう。(地域名・地域らしさを取り入れるのもOK!)

### 地域分析シート

- ・【STEP1・2】に、複数記載した中の、どの現状、課題を意識した取組なのか記入しましょう。
- ・日常生活の中で「困ったな」「こう変わればいいのになあ」と感じるものが「地域課題」として捉えられます。

- ・地域分析シート【STEP3】をもとに、課題解決、理想の将来像に向けて活かせる地域の資源、連携・協力する人や機関を記入しましょう。
- ・地域分析シートに記載のない地域外の人や機関・団体と連携する場合には、追記しましょう。

地域分析シート【STEP4】や②理想の地域像・将来像のもととなった区市町のビジョン等を記載しましょう。

地域分析シート【STEP4】をもとに、どのような地域にしていきたいのか、課題解決の方向性を決めましょう。  
・誰を対象にしているのか？  
・住民の願いは？

### ◎取り組む内容(学び)が

- 人づくり (個人の学び)
    - 「地域の担い手の育成につながる学び」「若年層を巻き込む学び」
  - つながりづくり (相互学習を通じた相互理解・絆)
    - 「多世代が交流する学び」「個と個、団体と団体につながる場や機会の工夫がある学び」
  - 地域づくり (住民の主体的な活動)
    - 「よりよい地域づくり」「地域課題解」「地域魅力化発信」
    - 「持続可能な地域づくり SDGs」
- の、どの学びや成長につながっているか考えておきましょう。
- ・「地域づくり」は理想の地域像・将来像に向けた取組、「人づくり」「つながりづくり」は、「地域づくり」の取組の土台となる取組です。
  - ・既存の講座や事業の見直しも取組の一つです。
  - ・住民が主体的に参加できるよう「参加型・協働型・体験型」の活動を取り入れましょう。
  - ・成果指標の定量、定性のどれで評価するか記載しましょう。

- ・「持続可能な開発目標」(SDGs)の17のゴールの中から関連するものを選んで記入しましょう。(複数選択可)



- ・各取組後、成果指標に照らし評価をしましょう。P10 参考
- ・<◎:よくできた>・<○:できた>・<△もう少し>の三段階で記入し、△の取組は、改善を図っていきましょう。(PDCA サイクル)
- ・評価の基準は、作成に関わった人で相談して決めましょう。

取組内容	人づくり		つながりづくり		地域づくり	
	項目	評価	項目	評価	項目	評価
1年目						
2年目						
3年目						

- ・どのような状態になったら企画が成功し、成果が上がったと言えるか考えてみましょう。
- ・目的や事業内容と成果指標の整合性をとれるようにしましょう。
- ・数値で表せるもの(定量評価)と数値で表せないもの(定性評価)にわけて評価できるようにしましょう。

成果指標	項目	年度評価
	(定量評価) 数値で表せるもの	
(定性評価) 数値で表せないもの		

・年度(1年)の取組について評価をしましょう。  
※翌年度の評価をする場合は、シートをコピー

- ・事業を進めていく上で必要な予算・財源・資金を考えましょう。
- ・持続的に活動ができるように、資金や財源も持続的に確保できるようにしましょう。
- ・クラウドファンディングの活用も検討してみましょう。

予算 資金 財源	
----------------	--

- ・3年程度を目安に計画を立ててみましょう。
- ・スケジュールを時系列に並べて、PDCAサイクルを見える化しながら進められるようにしましょう。

実施過程	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目												
2年目												
3年目												

[次年度へ向けての改善点]